

■ 3つのまちの姿 …………… 3 活力と魅力があふれる稼げるまち
 ■ 関係分野（基本計画） …… 1 農林業



目標 3

目指すまちの姿

- 美しい田園風景を大切にし、魅力ある農業を実現するまち
- 八ヶ岳の裾野に広がる豊かな森林を次世代へつなげるまち

実現したい交流
大切にしたい交流

- JA信州諏訪、諏訪農業農村支援センター等関係機関と連携し、生産者、販売者、消費者などとのつながりを広げる。
- 2050脱炭素社会の実現に関する連携協定に基づき、森林の保全を通じた、人材育成や知識蓄積、環境学習など、相互の地域活力の創出につながる市民や事業者等の交流を推進する。

成果指標と目標

- 認定新規就農者認定件数（現状 R5年度 2件）
目標値（R10年度末）累計 10件
- 間伐伐整備実施面積（搬出・切捨間伐・環境整備）
（現状 R4年度 53ha）
目標値（R10年度末）累計 300ha

Well-Being指標と目標
（市民意識調査）

- 茅野市は「たくましいまち」であると思いませんか
- 将来生まれてくる世代のために、よい環境や文化を残したい。

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み

- 高原の冷涼な気候が、野菜、花き栽培には適地
- 首都圏、中京圏に近い立地環境
- 豊富な森林は、良質な水を育み、土砂崩壊や流出を防ぎ、温暖化を防止するなど多面的な機能を有する。
- 木材の生産をはじめ、多くの林産物を持続的に生産・供給
- 森林の木々や緑は訪れる人に安らぎを与え、市民に平等に恩恵を与えてくれる。

農業振興の推進

- 農業担い手の不足、高齢化による農業離れ
⇒ 農業経営体の確保・育成を図る。
- 資材等の高騰による、農業経営の圧迫
⇒ 地域計画の策定による農地の集約・集積を推進し、効率的な農業を推進するとともに、新たな販路の開拓や付加価値の高い作物の栽培など、稼げる農業を推進する。
- 有害鳥獣等による農作物への被害
⇒ 有害鳥獣駆除対策事業の実施と併せ、湿田対策事業等を実施し優良農地の保全と活用を図る。

林業振興の推進

G X・ゼロカーボン

- 所有者の森林離れが進み、手入れの行き届いていない放置森林の増加。森林の保全と育成のために、効率的な森林整備を行う必要がある。
⇒ 搬出間伐の継続と、道路沿線や集落及び農地に隣接する森林の環境整備を行うことで「森林整備の見える化」を進めるとともに、森林に対する住民意識と生活環境の向上を図り、多様な森林整備及び環境保全の推進する。
- 地域の森林で発生する間伐材がそのまま放置され、十分に利用されていない状況がある。
⇒ 間伐材の有効活用における、地産地消のシステム化を推進し、間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用を進める。
- 次世代を担う林業従事者の確保と育成が課題となっている。
⇒ 林業の担い手確保と育成の取組として、県の認定を受ける意欲と能力のある林業事業者の創出を図る取組を行い、森林づくりを支えるための教育活動を進める。

主な事業

関連計画等

- ・ 農業担い手育成支援事業
- ・ 地域計画策定
- ・ 農地中間管理機構集積協力金交付事業
- ・ 多面的機能直接支払事業
- ・ 森林整備事業補助金
- ・ 森林環境譲与税事業
- ・ みどりの少年団育成補助金
- ・ 茅野市農業振興ビジョン
- ・ 茅野市林業振興ビジョン
- ・ 茅野市産業振興ビジョン

■ 3つのまちの姿 …………… 3 活力と魅力があふれる稼げるまち

■ 関係分野（基本計画） …… 2 商工業



目標 3

目指すまちの姿

- 個性豊かな商店、元気ある事業者等が協力し合い、賑わいを創出できるまち
- 「人」がつながり、「技」がつながり、新たな「活力」を産出す、強く、やさしい、ものづくり企業のまち

実現したい交流 大切にしたい交流

- 茅野商工会議所、公立諏訪東京理科大学、行政機関等と連携しイベント事業や新商品の開発等支援を行い、商業全体の底上げに取り組む。
- 公立諏訪東京理科大学をはじめとした大学、産業支援機関、技術系教育・研究機関と連携・協働することで、様々な知見や農業、林業などの多業種との交流を推進する。

成果指標と目標

- 創業者数（創業・開業資金の利用者数）
（現状 R4年度 15人）
目標値（R10年度末）累計50人
- 中小企業振興補助金及び製造業労務環境等設備補助金の投資合算額
（現状 R5年度 1,060,490千円）
目標値（R10年度末）累積 5,000,000千円

Well-Being指標と目標 （市民意識調査）

- 茅野市では、やりたい仕事を見つけやすい。

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み

- 中小企業者等に負担の少ない制度融資
- AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」
- 観光客、別荘住民、ビジネス、大学生等による消費効果
- 多様で精密な技術を持つものづくり集積地
- 首都圏、中京圏に近く、水、気候風土に恵まれた立地環境
- 大学、産業支援機関、技術系教育・研究機関が近隣に立地

商業振興の推進

- インターネット販売の普及、コンビニエンスストアの多機能化等に加え、新型コロナウイルス感染症等により消費者の買物ニーズやライフスタイルが変化したことに伴い、地元商店及び商店街の活力が損なわれつつある。来客の減少、後継者不足や施設の老朽化などにより、今後空き店舗の増加も懸念される。まちのプロデューサー的機能を有していたTMOが解散したことに伴い、新たなまちづくりのための仕組みや仕掛けが求められている。
⇒人材育成・経営改善等の研修会等に対する支援を行い、経営力の向上や商業の担い手育成を図る。経済情勢や事業者等のニーズを的確に捉え、信用保証協会及び金融機関、商工会議所との連携を密にし、資金繰りの支援を行う。
中心市街地において、若者による出店が相次いでいるトレンドを捉え、新たなイベント補助金を創設し、まちの賑わい支援に取り組んでいく。
併せて、市内各商業会との連携を促し、地域全体でまちなかのにぎわいを創出できる取り組みを検討・実施していく。

工業振興の推進

- 技術や品質に強みを持つものの経営基盤が弱く、技術継承や生産性に課題がある。
⇒生産基盤強化と立地、事業承継への支援を充実する。
- 生産年齢人口の減少により、人材確保と事業の継続性に課題がある。
⇒産学公連携及び人材確保・育成への支援を充実する。
- 技術革新や社会的環境の変化により受注不安の課題がある。
⇒技術革新や新工法の開発、新分野への技術改良、販路開拓支援を充実する。

D X・アナログの再構築

- 製造業において、生産性向上に向けた作業工程の見直しと、D Xの導入

G X・ゼロカーボン

- 成長分野であるG X・ゼロカーボン分野への参入支援

行財政改革

- 茅野・産業振興プラザの体制の見直し
- 企業誘致による税収の確保

主な事業

- 制度融資あっせん等事業
- 商店街活性化事業、空き店舗等活用事業
- 中小企業振興補助及び製造業労務環境等設備補助事業
- 販路開拓支援等補助及び人材育成等支援補助事業
- コワーキングスペース事業

関連計画等

- 茅野市商業振興ビジョン
- 茅野市工業振興ビジョン
- 茅野市産業振興ビジョン
- 第2期長野県諏訪圏6市町村基本計画

■ 3つのまちの姿 3 活力と魅力があふれる稼げるまち

■ 関係分野（基本計画） 3 観光



目標 3

目指すまちの姿

- 「住んでよし、訪れてよし」、八ヶ岳・蓼科・白樺湖・車山・縄文のまち

実現したい交流
大切にしたい交流

- 来訪者と地域住民との新たな交流を生み出し、共感の輪を広げていくことにより、茅野市の観光地域ブランド創出を目指す。

成果指標と目標

- 外国人観光客入込数（現状 R4年度 1,451人）
目標値（R10年度末）30,000人

Well-Being指標と目標
（市民意識調査）

- 茅野市は交流が活発なまちだと思うか。

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み

- 茅野市には、八ヶ岳、蓼科、白樺湖、車山高原に代表される魅力溢れる自然や景観が豊富であることに加え、縄文や堰、寒天、伝統工芸、校庭スケート等、この地域ならではの誇れる文化や歴史がある。

観光振興の推進

- 全国各地で国内旅行復活の動きが本格化する可能性があるため、多様な観光地の魅力を活かした滞在型観光の推進や、観光を支える人材・組織の充実などを通じた、誘客宣伝、販路拡大への動きを加速させる必要がある。
⇒ちのDMOによるプログラム拡充を支援し、年間を通した提供体制を整え、多様な観光地の魅力を活かした滞在型観光を推進する。
ちのDMOが実施するプログラム造成等の事業に対し、組織の自立化（自主財源強化）を目標として支援するとともに、円滑かつ効果的な事業実施に導くなどして、観光を支える人材・組織の充実を図る。
- 外国人旅行者の対応に必要と思われるWi-Fiや多言語対応ツールなどの整備が遅れているため、観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進が求められている。
⇒観光地の整備事業について、各地域観光協会の意見を取りまとめ適切に進めるほか、Wi-Fiや多言語対応ツール等、外国人旅行者等に向けた受入環境整備について、計画的な整備や対策を進めるなどして、観光まちづくりと連動した観光環境整備を推進する。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行のスタイルが大人数参加型から個人参加型の旅スタイルに変化してきているので、個人旅行者の獲得などが求められる。
⇒ちのDMOによるプログラム拡充を支援し、年間を通した提供体制を整えていく。また、観光資源を活かしたプログラムの造成を働きかけるなどして、新しい発想による観光資源の創出、観光を横軸にした産業連携、まちづくりを進める。

DX・アナログの再構築

- ・ デジタル技術の活用

行財政改革

- ・ 観光客を対象とした新税の創設の検討

主な事業

- ・ 観光まちづくり支援事業
- ・ 観光まちづくり推進事業
- ・ 観光誘客宣伝事業

関連計画等

- ・ 茅野市観光振興ビジョン
- ・ 茅野市産業振興ビジョン

- 3つのまちの姿 …………… 3 活力と魅力があふれる稼げるまち
- 関係分野（基本計画） …… 4 雇用、人財育成、起業・創業



目標 3

目指すまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 「住んでよし、訪れてよし、働いてよし」、活力と活気あふれるまち ● 全産業共通の課題である労働力の確保や人材の育成等に対し、様々な働き方に対応できる環境の整備や産業人材育成の充実を図るまち
実現したい交流 大切にしたい交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 産学公等の連携を通じて教育機関、各分野の産業支援機関で行う人材育成に資する取り組みを有機的につなげる。

成果指標と目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域職業相談室相談者数（現状 R4年度 5,265人） 目標値（R10年度末）累計30,000人 ● 創業者数（創業・開業資金の利用者数）（現状 R4年度 15人） 目標値（R10年度末）累計50人
Well-Being指標と目標 （市民意識調査）	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅野市では、やりたい仕事を見つけやすい。 ● 茅野市は新たなことに挑戦・成長するための機会がある

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み	<ul style="list-style-type: none"> ● 工業、観光、商業、農業、建設業等、バランスのとれた産業構造 ● 多様で精密な技術をもつものづくり集積地 ● 人材育成に係る補助金制度 ● 産学公等の連携体制に柔軟に取り組める。 ● コワーキングスペース「ワークラボ八ヶ岳」 ● 地域職業相談室
--------	--

市内企業への就業の促進

- 若年層を中心に大都市圏への人口流出が進んでいることや、生産年齢人口の減少から諏訪地域内に限らず県内全域で人材確保が困難になっている。
⇒市内企業や関係機関と連携して労務対策体制を充実させるとともに、公立諏訪東京理科大学生をはじめとして、子育て中の女性、中高年齢者、外国籍労働者など、新たな担い手となりうる人材の市内企業への就労を促進する取組を推進する。
自社の効果的な魅力発信について検討を行う。

人材育成の推進

- 中小企業や小規模事業者における事業活動の生産性向上は不可欠であり、その担い手として高い専門性や意欲ある人材の確保、将来の担い手の育成が必要である。
⇒各産業の次代を担う人材確保とともに高い専門性や意欲ある人材の育成を推進するため、従業員のセミナー等への参加支援やスキルアップのための教育の機会等を提供する。
各産業において働き方改革に取り組み、担い手の育成を図る。

起業・創業の促進

- ワークラボ八ヶ岳や、中心市街地の空き店舗等における若者の起業・創業は進んでおり、今後は女性のニーズを捉えた起業・創業支援の取組も必要である。
⇒若者や女性を対象とした起業・創業支援を行っていくことで新規事業を創出しやすいまちとなり、UIターンを検討する若者や女性が茅野市で稼ぐ手段が多様となる。
また、その取組を広く発信することで茅野市が住み続けたいまちとなることを目指す。
ワークラボ八ヶ岳と関係機関との連携による起業・創業支援事業を積極的に展開する。

多様性の尊重

- お互いの考え方や生き方を尊重し、様々な働き方に対応できる環境整備に取り組む。

主な事業

- 労働力確保・雇用対策事業
- 人材育成等支援事業
- 勤労者の福利厚生等支援事業
- インターンシップ推進事業
- 女性の起業支援事業
- 起業・創業推進事業

関連計画等

- 茅野市産業振興ビジョン
- 茅野市建設産業振興ビジョン

- 3つのまちの姿 …………… 3 活力と魅力があふれる稼げるまち
- 関係分野（基本計画） …… 5 シティプロモーション・広聴



目標 3

目指すまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅野市の情報を市内外に様々な方法により発信することで、市民はシビックプライドの醸成、市外の方には茅野市を知ってもらい、新たな交流人口・関係人口が生まれ、つながっていくまち
実現したい交流 大切にしたい交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内外でのプロモーションを通じた交流 ● 市民の声を広く聴き、施策に反映しながらまちづくりを進める交流

成果指標と目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ブランド調査全国順位（認知度） （現状 R4年度 570位） 目標値（R10年度末）470位
Well-Being指標と目標 （市民意識調査）	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅野市は交流が活発なまちだと思ふ。

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み	<ul style="list-style-type: none"> ● 八ヶ岳、蓼科、白樺湖、車山、縄文といった多くのPRポイント ● 夏場は湿度が低く過ごしやすい気候 ● 首都圏、中京圏から車、電車で2時間から3時間の立地
--------	--

戦略的な情報発信

- 全国の市町村がプロモーションを行う中で、茅野市の情報を認知してもらい、交流人口・関係人口を増加させるためには、ターゲットを明確化する場合やできるだけ広く情報を届ける場合など情報の性質による発信方法の工夫が必要である。
⇒**交流人口・関係人口の増加のため、地域やターゲットを絞ったシティプロモーションを図る。SNSを活用した情報発信に力を入れ、フォロワーの獲得に取り組んでいく。**
- 茅野市の施策等の強みを工夫し発信していく事で、市内向けにはシビックプライドの醸成が図られ、市外向けには交流人口・関係人口の増加につながるような情報発信が必要である。
⇒**行政情報を市民への確に届けることはもちろん、ホームページや広報紙などの閲覧数が多い媒体を中心に、シビックプライドの醸成や交流人口・関係人口の増加につながるような情報発信を行う。**

広聴の充実

- 特にこれからのまちづくりを担っていく若者や子育て世代の声を聴き、施策に反映していくため、より参画しやすい聴く場を企画・創出する必要がある。
⇒**デジタル技術等を取り入れながら、新たな切り口により声を聴く場や参画の機会を創出する。**

DX・アナログの再構築

- SNS等のメディアやデジタルツールを使った情報発信と、デジタルツールを活用したターゲットやニーズの明確化により、茅野市の魅力などを伝える効果的なシティプロモーションを展開する。
- デジタルツールを活用した、より多くの人の声を集める新たな手法の研究と実践をする。

主な事業

- シティプロモーション事業
- ホームページ事業
- インターネット動画事業
- 広報ちの発行事業
- 市政への手紙・メール
- まちづくり懇談会

関連計画等

- 茅野市行政経営基本計画

- 3つのまちの姿 …………… 3 活力と魅力があふれる稼げるまち
- 関係分野（基本計画） …… 6 交流人口・関係人口、移住・定住



目標 3

目指すまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境を活かした安全・安心で、にぎわいのあるまち
実現したい交流 大切にしたい交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 田舎暮らし楽園信州ちの協議会や長野県、県内市町村、市内企業等との連携による、交流人口・関係人口の増加を促す取組の推進 ● 市外の方が観光などで訪れることによる市民との交流

成果指標と目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 物件見学ツアー年間参加人数（現状 R4年度 88人） 目標値（R10年度末）100人 ● 地域ブランド調査全国順位（認知度） （現状 R4年度 570位） 目標値（R10年度末）470位
Well-Being指標と目標 （市民意識調査）	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅野市では、適度な費用で住宅を確保できる。 ● 茅野市は交流が活発なまちだと思う。

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み	<ul style="list-style-type: none"> ● 田舎暮らし楽園信州ちの協議会の活動 ● 八ヶ岳、蓼科、白樺、車山、縄文といった多くのPRポイント ● 夏場は湿度が低く過ごしやすい気候 ● 首都圏、中京圏から車、電車で2時間から3時間の立地 ● 茅野市コワーキングスペース「ワークラボ八ヶ岳」
--------	---

交流人口・関係人口の創出

- 人口減少・超高齢化が進展する中、まちの活性化を図るため、若者を中心とした多くの人や企業を市内に呼び込み、まちの稼ぐ力の強化につなげていく必要がある。
⇒茅野市の強みである八ヶ岳の豊かな自然環境を軸にしたシティプロモーションを、地域を絞って展開することでより効果を高めることや、都心部の企業にウェルネスなどの新たな視点でアプローチし、他の地域と差別化をできる限り図りながら市外から人を呼び込み、茅野市との接点を創る。

移住・定住の促進

- 移住希望者が若年齢化してきている中で、移住に求めてきているものが変化してきており、移住希望者のニーズに合ったセミナー等の開催が不可欠である。
⇒近年増加傾向にある若年層の移住希望者が求める就業先とのマッチングに対応するなど、より高い確度で茅野市への移住につなげる取組を進める。

多様性の尊重

- ・ 移住希望者のニーズは様々である。それぞれの多様性を尊重し、移住希望者に寄り添いながらニーズに対応する。

主な事業

- ・ 地域創生推進事業
- ・ 物件見学ツアー、移住体験住宅、セミナー等の開催

関連計画等

- ・ 茅野市行政経営基本計画
- ・ 茅野市産業振興ビジョン
- ・ 茅野市建設産業振興ビジョン

- 3つのまちの姿 …………… 3 活力と魅力があふれる稼げるまち
- 関係分野（基本計画） …… 7 中心市街地



目標 3

目指すまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅野駅周辺が交通結節点としての優れた安全性と快適性を備えているとともに、賑わいや交流の中心地として活力にあふれるまち
実現したい交流 大切にしたい交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅周辺の商業者やベルビアのテナントをはじめ、学生やクリエイティブな活動を目指す企業・団体、観光事業者などとの連携・交流を目指す。

成果指標と目標	<ul style="list-style-type: none"> ● JR茅野駅乗車人数の増（現状値×1.5） （現状 R4年度 3,175人） 目標値（R10年度末）4,762人 ● JR茅野駅周辺の1日平均滞在者数の増（※設定可能か検討中）
Well-Being指標と目標 （市民意識調査）	<ul style="list-style-type: none"> ● 茅野市は交流が活発なまちだと思う。

現状と課題 ⇒ 重点施策、施策の方針等

茅野市の強み	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京エリアに直結する特急停車駅としての利便性 ● 松本、上伊那、山梨の各方面へのハブとしての機能
--------	---

J R 茅野駅西口エリア活性化の推進

- 茅野駅西口ベルビアや、駅周辺の商店・飲食店の利用者が少なく、買い回りできる施設や電車の待ち時間を過ごす場所も不足している。
⇒ 「人を呼び込む施策」から「人が集積する施策」への転換を図る。
学生やクリエイティブな活動を目指す企業・団体等が共同で利用できるスペースや、茅野駅利用者、ベルビア来訪者が気軽に集い、憩うことができる拠点を整備する。
- ソフト・ハード両面で大都市圏との二拠点生活の受け皿となる環境が十分ではない
⇒ 茅野市の優れた自然と地域資源を活かして二拠点生活者を増加させるため、茅野駅周辺のハード整備とともに、茅野駅周辺と蓼科湖、白樺湖といった交流拠点を繋ぎ、市内の広範囲に賑わいが広がるような取組を行う。

主な事業

- ・ ベルビア活性化推進事業
- ・ 茅野駅西口駅前広場リニューアル事業

関連計画等

- ・ 茅野市都市計画マスタープラン
- ・ 茅野市立地適正化計画